

これでもやるの？ 大阪・関西万博

Q&A

あなたの
疑問も
スッキリ?!
START!

Q 建設費が上振れしてるって聞いたけど？



A 当初の約2倍に膨らみ
さらに増える可能性があります

当初1250億円だった会場建設費は資材高騰などを受けて1850億円、2350億円と上振れをくり返し約2倍に膨らんでいます。国民1人当たりの負担額は600円、大阪府民は+4千円、大阪市民はさらに+1万4千円で約1万9千円に。しかも、これとは別に「日本館」建設等(837億円)、シャトルバスのルート整備(1600億円)などが次々判明、府市も夢洲へのアクセス鉄道や道路整備(1000億円)を追加しています。

たった半年のために350億？

■万博木造リング 350億円
●スカイツリー…400億円
●東京タワー…175億円※
※建設当時の30億円で物価上昇を加味した数字

2350億円+αは誰が負担？

| | | |
|-----|--------|-------|
| 国 | 783億円+ | 国民 |
| 府・市 | 783億円+ | 府民・市民 |
| 財界 | 783億円 | |

Q 2兆円の経済効果って本当にあるの？



A 試算の数字が現実的ではありません

大阪府の吉村知事は、さかんに経済効果を強調しています。しかし試算の根拠の一つとして万博の来場者総数を約2820万人と見積もっています。同じ此花区内にあるユニバーサルスタジオジャパン(USJ)の来場者数は年間1235万人(2022年実績)です。万博会場へは直接自家用車で行くことはできないなど交通アクセスも悪く、わずか半年の開催期間にUSJの2倍の来場者が来るのか疑問の声が上がっています。

Q 万博に使うお金があれば何ができるの？



A 例えば、75歳以上の医療費患者負担の割合を原則1割に戻せます

後期高齢者医療における患者負担割合の原則2割化(22年10月~)による社会保障費の削減額は約400億円(23年度予算)でした。一方、新たに明らかになった「日本館」建設等の費用は837億円です。大阪府の予算でみると、小中高生を万博に無料招待するための予算14.1億円があれば、大阪府の制度として未就学の子どもの医療費を1年間無料にできます。

大阪
では…

1998年→2022年
給料は月6万円以上も減

2022年10月から
1年間実質賃金はずっとマイナス



スッキリ度
20%

スッキリ度
40%

スッキリ度
60%

スッキリ度
80%

スッキリ度
100%

Q 夢洲でやって大丈夫？



A 地盤沈下、地震液状化など問題だらけ

夢洲は建設残土や廃棄物の処分場として整備されてきた埋め立て地です。すでに地盤沈下し続け、地震のときには液状化の可能性もあり、高層建築物の立地には不向きな土地です。夢洲の土地には有害物質も含まれており、土壌汚染対策についても心配の声があがっています。大阪府は土壌汚染や液状化対策などに最大で788億円という巨額の公金をつぎ込むことも決めています。これで済むのかどうか疑問の声があがっています。

Q 今からでもやめられるの？



A 政治決断があれば可能です

簡単なことではありません。しかし、「大阪万博」は「必要ない」という声が多数を占めるなか、テレビのモーニングショーでも、「万博中止」の「補償額」の話題がとりあげられています。2024年4月12日までに決断すれば約340億円(奇しくも「木造リング」とほぼ同額です)、しかし4月13日以降になれば813億円に。日本政府と大阪府・市が政治決断するなら、BIE(博覧会国際事務局)総会で決められます。いまなら傷は浅い。

賃上げ・家計の応援を

税金のムダ遣いやめて

